

志津のお宝発見！地域と作る私たちの学校

草津市	活動名：志津小地域協働合校推進委員会	志津小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：3人（兼務3人） ボランティア登録数：200人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

○総合的な学習の時間での支援に関わって、子ども達が地域に愛情をもち、将来地域のために活動できるようにどのような学習活動をプログラムしていけばよいか熟議し、志津のお宝は「自然」と「歴史」であることをもとに系統的な学習を仕組んでいこうと確認し、学習したことをこども環境会議など地域に発信していく。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

（1）4年総合的な学習の時間「里山学習」

4年生の総合的な学習の時間の「森林からのおくりもの」に関連して、地域に在住の大学教授が自宅の里山を教材に学習を支援していただいた。4年生は、「やまのこ」学習もしているため、子ども達も木の名前などもよく知っており、地域にある森林に興味を持って学習を進めることができた。また、竹を燃やしてできる竹炭づくりなどを通して、環境問題に関心を持つこともできた。



【 里山学習 】

（2）お米感謝祭（田んぼの学習）

例年5年生では、地域の方に田んぼを借りて、田植えや稲刈りを体験させて頂いている。今年度は、コロナ禍も明けたので、いつもお世話になっている方に来ていただいて、「お米感謝祭」を行った。収穫したお米でおにぎりを作り、食に感謝すると共に、いつもお借りしてる地域の方にも改めて感謝の気持ちを持つことができた。

■ 実施に当たっての工夫

・長かったコロナ禍がようやく明け、子ども達が地域に出かけ学習することも少しずつ増えてきた。4年生の里山学習の他にも、2年生の町探検、3年生の「志津のお宝発見」など地域に実際出かけ、地域の方から話を聞くことを心掛けた。「志津のお宝発見」では、志津の歴史と文化をまなぶ会の方に来ていただいたおかげで、地域の企業である日東電工に特別に見学させてもらうこともできた。これにより子ども達も地域の人に対しても愛着を持つことができた。

■ 事業の成果

・子ども達にとって、地域の人と関わり地域のことを学ぶ中で、地域に対する愛情も芽生えてきた。学んだことをそれぞれ発表する活動を通して、志津の宝である「自然」や「歴史」を子ども達が意識して守っていこうとする態度が深められた。



【 お米感謝祭 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・総合的な学習の時間を3年から6年まで系統的に計画し、地域協働合校との取組と連携するようにしてきた。学校評議員のメンバーの方にも講師になって頂き、学校評議員会で熟議した内容を意識して話してもらっている。今後は、学んだことをいろいろな学年で地域に発信していきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

地域の方と一緒に、学び育つ南っこ！！

草津市	活動名：志津南小地域協働合校推進協議会	志津南小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：145人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学 校 地域学校協働活動推進員等 行 政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・各学期の学校（児童）の様子
- ・各学期の地域協働合校の取組についての紹介や協力依頼
- ・学校と地域との連携について意見交流
- ・学校と立命館大学との連携事業について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1)「学校ボランティア始動」(全校)

本年度より、地域の方々や保護者に呼びかけ、登録制の学校ボランティアを始動させた。校内での学校行事や学習のサポート、校区内での校外学習の見守りなど、都合のつくときに気軽に参加いただくことをコンセプトとして実施している。高学年の家庭科「裁縫やミシンの扱い」、地域の公園への自然観察、学校の花壇の整備等にもご尽力いただいた。

(2)「立命館大学との交流」(全校)

「立命館大学BKC地域連携課」の方にご協力いただき、1年生から5年生は、学生の方々に小学校に来ていただき、ダンスや紙飛行機製作、科学実験や天体学習等を体験させていただいた。6年生は、大学キャンパスに行き、大学内の施設等の見学や体験学習をさせていただいた。



【家庭科 ミシンの補助】

■ 実施に当たっての工夫（学校ボランティア実施についての工夫・対応等）

最初のオリエンテーションの際に、本校ボランティアのコンセプトや留意事項等を伝えた。気軽に参加いただける雰囲気作りを常に意識している。地域コーディネーターを窓口し、地域の学校ボランティアの方々に活動案内のプリントを配布し、参加希望者を募った。また、保護者ボランティアの方々には、児童を通じて活動内容を知らせた。

■ 事業の成果

学校ボランティアの協力によって、児童の学習活動が充実したり、安全に実施できる手助けになったりと成果が大きかった。また、学校の環境美化にもつながった。立命館大学との交流については、学年のニーズに合った内容で、年齢が近い学生の方々に教えていただいたり、触れ合ったりできたことは、児童が物事に興味を持つ良い経験の場となった。



【立命館大学との交流】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域の方と学校との互いの思いや意図をしっかりと話し合いの中で確認して実践することが大切である。今後も、そのような事を意識し、互いにとって有意義な活動にしていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

年に4回、学校運営協議会において、地域協働合校の事業計画や実施状況を報告している。そこで出された意見や助言等を参考にして次の活動に生かしている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校 長 教 頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

ふれあい 学び合い 心をひびかせる 草津っ子

草津市	活動名：草津学区ひと・まちいきいき協議会	草津小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域協働学校概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：35人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

- 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
- 学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

- 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）
- 地域の人材を活用していることが大変すばらしい。
協力できる学習には積極的に参加されている。
今後も地域協働学校が円滑に進められるように取り組んでいく。



【 1年 さつまいもの収穫 】

- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 「なでしこの花を育てよう」

「なでしこ」は、本校の校章の図柄であり、子どもたちにより愛着を感じさせながら愛校心を育てる活動を実施している。総合的な学習の時間等を活用し、環境ボランティアや湖南農業高等学校の協力を得ながら、なでしこの苗を植え、水やりや草引き作業等、日々世話をし、育てている。

(2) 「米づくり（5年）」 「花を育てよう（3年）」 「さつまいも作り（1年）」

第5学年の総合的な学習の時間では、敷地内にある学校田で稲を育てている。毎年、土づくりから収穫まで、環境ボランティアが児童一人ひとりに丁寧な指導をしており、草ひきなどの世話も児童と共に実施している。さつまいもづくりや花の植え替えも実施しており、例年、収穫後に「お米パーティー」や「さつまいもパーティー」を開催し、収穫したお米やさつまいもをともにいただきながら交流を深めている。今年度は、学んだことの発表会に参加していただいたり、収穫した作物を持ち帰っていただいたりした。参加された地域の方々も児童の姿に感動され、交流の場を楽しみにされている。



【 5年 稲刈り 】

- 実施に当たっての工夫

- ・活動中だけでなく、活動後にもボランティアの方が「来てよかった、続けていきたい」と考えていただける活動を目指した。
- ・児童との交流がその時限りになるのではなく、感謝の気持ちを感想文やお礼状として渡すことで、ボランティアの方々のやりがいにつながるよう取り組んだ。

- 事業の成果

- ・何年も継続してボランティア活動に取り組んでいただいている方が多いので、活動の流れや学校の様子をよく知っていただいていることから、スムーズに活動を行うことができています。
- ・継続して取り組んでいることがボランティアの方の「私たちが草津小学校の教育活動を支えている」という誇りや生き甲斐につながっている。
- ・関わりが深まることで、児童は、収穫の喜びとともに「いろいろな人に見守ってもらっている」と感じ、豊かな心の成長につながっている。

- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・継続的な活動が多く、ボランティアの方に任せてしまうことがあるので、学校環境の整備など活動を問わず、共に考える場を設定した。学校の各職員に丁寧に活動内容を伝えることで、よりよい関係を目指したい。
- ・ボランティアの方が熱心に、児童一人ひとりに丁寧な指導をしていただいているおかげで、学習は予定通りに進んでいる。「児童が試行錯誤をし、自力解決する力をつける学習」を目指す必要性も感じている。そのためにも、学習のねらいや役割分担について、ボランティアと学校が十分に共通理解を行うようにした。

- その他（学校運営協議会との協働等）

- ・例年、年4回の学校運営協議会において連絡調整等を実施している。
- ・スクールESDに取り組み、地域の課題解決をしている。

- 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）
 報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

「人・もの・地域」と出会い、ふれあい、高め合おう！

草津市	活動名：草津第二小学校地域協働合校推進委員会	草津第二学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：103人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（草津駅前商店街・草津川跡地公園（de 愛ひろば））

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

地域と学校で連携して子どもたちの育ちを見守り、地域社会と子どもたちをつなげる機会となっている。昨年度の学校評価の中で、保護者、児童ともに「あいさつをする」という項目の評価が低い傾向にあったが、今年度は「状況を判断して、その場に合った挨拶ができる子どもの姿に感激した」というご意見があった。また、まちづくり計画に子どもの声を掲載するなど、子どもの考えを地域に生かそうとされていることが分かった。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

【3年生 お店体験】

草津第二小学校区は駅前に広がっており多くのマンションが建ち並んでいるが、駅前には昔からの商店街も残っており新しい店と共存している。3年生では、総合的な学習で「お店体験」に取り組み、地域のいろいろなお店を見学したり体験したりすることによって働く人々の姿に触れ、商品を守るための工夫や仕事に対する思いを知ることができた。またスーパーマーケットやカフェ等で様々な仕事を体験することにより、仕事の大変さを学ぶと共に、地域の人と交流することでコミュニケーション力の向上を図ることができた。

【6年生 平和学習】

本校の6年生の子どもたちは、学区に居住されている、104歳の戦争体験者の方から毎年お話を聞き、平和について考える学習をしている。今年度も、戦地での実体験やご自身の平和への思いを聞かせていただき、改めて平和の大切さやありがたさを感じ、平和な世界のために自分は何ができるかを考えて「平和宣言」にまとめることができた。

■ 実施に当たっての工夫

コロナ禍にはできなかった「お店体験」を、今年度は実施することができた。実施にあたり直接お店の方をお願いして打合せをしたり、保護者の方にもボランティアをお願いしたりして、安全に学習ができるように準備を行った。

戦争体験者の方とも事前の打合せで思いを聞かせてもらうことで、教員自身も平和への思いを持って当日の指導にあたることができた。

■ 事業の成果

自分たちの学びと、地域の様々な人・もの・ことがらとの関わりを通して、地域に親しみを持つことができた。「お店体験」では、今まであまり意識していなかった地域のお店や働く人について知り、働くことの楽しさや厳しさを感じる事ができた。

「戦争体験を聞く」では、「地域」という身近な方の実際の体験を聞くことで心を動かされ、「平和の大切さ」を頭で考えるだけでなく、心で感じる姿が見られた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域協働合校コーディネーターから、地域の各場所の担当の方に連絡をとり、学習への協力を依頼した上で、後日担当学年から連絡を取った。コーディネーターと役割分担をすることでスムーズに連絡調整を進めることができた。今後さらに活動を充実させるために、依頼先を増やすことと考えていく必要があるため、連絡・調整・事後のお礼等がスムーズにできるよう、工夫する必要がある。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

各学年とも、児童が体験することで学んだり考えたりすることを大切にして取り組んでいる。学習や活動の内容は、学校ホームページや学年・学校だよりなどを通じて、保護者にも知らせている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）



【スーパーマーケットでお店体験】



【平和学習】

報告書記入者（地域協働活動担当教職員）

いいな いいな とともに学んで ふれ合うまち 渋川

草津市	活動名： 渋川小学校地域協働合校推進委員会	渋川小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：250人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

学校運営協議会では、地域の方に学習の様子を紹介している。また、地域の中で学習の内容に合った人材がおられるかという相談をしている。1月の渋川ESDミュージアムは、学校HPを利用し地域の方にも見ていただけるよう発信をしている。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・ 地元の人や自然、くらし、文化に愛着や誇りを育む機会にするために環境教育を核に地域協働合校事業を進めている。
 - ・ 全校で学びの成果を展示物にまとめ、「渋川E（いいまち）S（しぶかわ）D（だいすき）ミュージアム」を開催し、保護者や地域の方にHPで発信している。
 - ・ 5年生では、「滋賀の郷土料理学習」を核に郷土料理の魅力について考えた。琵琶湖の漁師を招き、琵琶湖の現状について学ぶとともに、琵琶湖の魚貝を使った郷土料理「湖魚の佃煮」や「アメノイオご飯」を試食した。また、日野町からは和菓子職人を講師に招き、丁稚羊羹作りを実施した。作った丁稚羊羹はパッキングしてもらい、家に持ち帰って家族に学んだことや魅力を伝えた上で、家族と共に味わった。
 - ・ 6年生では、「世界農業遺産」に認定された滋賀の農業・水産業を中心に学びを深めた。琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業の魅力を知ることを通して、郷土への愛着や誇りを深めることをねらっている。郷土の農産物の中から「米」「野菜」「茶」をテーマに選び生産者と出会ったり、農産物を味わったりといった体験を数多く取り入れた。また、琵琶湖真珠の歴史や養殖の技術について学び、修学旅行では三重県の海の真珠の養殖業について学びを深めた。
- 近江茶学習では、近江茶の歴史や産地の特徴について学び、ほうじ茶づくりを体験し、味わうことができた。



【5年 琵琶湖の漁師さんと湖魚】

■ 実施に当たっての工夫

地域に関わりのある物や、ゆかりのある方との調整を地域コーディネーターが中心となって行っている。また、地域コーディネーターと担任との連携を密に行うことにより、学校ニーズを把握した上で充実した活動を行うことができています。活動内容に関しては、見たり触れたり味わったりする体験的な活動を行うことで記憶に残るような活動にした。

■ 事業の成果

すべての学年が地域の方に協力を得て子ども達の豊かな体験の場・学習の場を提供していただいている。活動を通して子どもたちは地域に対する愛着を育み、地域行事に積極的に参加する児童も多い。また、保護者や地域の方々にも地域のことを知っていただく機会となっている。テーマの通り、子どもも大人も活動に関わることで学び、ふれ合いを深めている。



【6年 近江茶の学習】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

子どもの実態や学習の内容に合わせて工夫の余地がある。めあてをしっかり設定して見直しをもって取り組みたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

年4回、学校運営協議会において子どもたちの学びを報告するなど連絡調整等を実施している。また、地域の中で学習の内容に合う人材がおられるか相談したりしている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（学年主任・学級担任）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

地域の先生に学び、地域に誇りを持てる子に！

草津市	活動名：矢倉小学校地域協働合校	矢倉小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：150人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ふるさと「矢倉」風景の記憶絵プロジェクト）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

登校中の見守りやボランティアで環境整備に来たときに、子どもたちのあいさつの声が励みになる。ふれあいまつりや、3年生の町探検、市民センター主催の防災キャンプなど、地域と学校が連携して充実した活動ができた。学校と地域の双方向で、高齢者世代と保護者世代を含めた活動ができないか考えていきたい。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

「矢倉のすてきを見つけよう」（3年生）

3年生の総合的な学習では、自分たちの住む地域にある寺社、お店などのすてきな所について調べた。地域を周る時には、テーマ別に子どもたちが分かれて探検した。それぞれのグループにボランティアさんがつき、言葉や絵などがかかれた自作のフリップを使って分かりやすく説明をしてくださった。



【 ガイド・保護者ボランティアと探検 】

■ 実施に当たっての工夫

事前学習として、ふるさと「矢倉」風景の記憶絵プロジェクトの方に、当日に周るコースの説明や矢倉の歴史に関するクイズなどをしていただいた。また、保護者ボランティアを募り、安全面にも気をつけて、探検をすることができた。

■ 事業の成果

課題別のコースを選んだことで、子どもたちは興味を持って探検し、たくさん質問することができた。ふだん何気なく目にしている所でも、それぞれの神社やお店の由来などを聞くことで、より地域に親しみを感じることができた。

また、学習できたことをまとめた成果物を、市民センターやふれあいまつりに掲示したり、草津市の「子ども環境会議」に展示したりし、自分たちの地域以外の人たちにも広く発信できた。



【 瓢泉堂・道標の由来 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

6月実施だったが、暑い時期なので、児童や高齢者にとっては熱中症対策を講じる必要がある。今回は児童が作った成果物を市民センターやふれあいまつりに掲示したが、地域の人がコメントを送るなど、学校と地域が双方向に働くような取組にしていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

草津市「子ども環境会議」や市民センターに掲示している子どもたちの成果物を一度見ていただきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

手をつなぎ、心通わす ^{ゆう}誘・^{ゆう}融（融け合う）老上

草津市	活動名：老上学区地域協働合校推進委員会	老上小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：100人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・本校研究事業スクールESDに関わる取組について（地域協働連携のあり方について）
- ・各学年の取組とボランティア・地域の協力の今後について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・米や野菜の栽培・収穫

「老上ふれあい農業合校」と学校が連携・協働して、子どもたちの農業体験を行っている。米や野菜を作る楽しさ、収穫に喜びを知り、感謝の気持ちももてるように学年に応じてめあてを設定し、学習を進めた。地域住民と協働する姿から世代間の交流も図られている。学校では、学習のみの関わりにとどめず、地域に戻った時にも声をかけあえる関係をつくることで、地域の活性化にもつながっている。

- ・みんなでつながり 安心安全！ 老上防災大作戦！

4年生が「みんなでつながり 安心安全！ 老上防災大作戦！」の取り組みを行っている。本学区は、近年都市開発が進み、他市や他県からの転入者が増加している。そのため住民同士のつながりが弱い傾向にあり、子どもたちは「自分たちの力で地域の防災意識を高められるようなイベントを開きたい」という願いをもって活動をスタートさせた。地域の避難場所や防災設備の調査のために町を歩き、地域の方や防災に関わる専門家に話を聞くなど体験活動を通して、自分たちの願いの実現に向けて取組を進めている。



【 稲刈り 】



【 防災設備について 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域コーディネーターや各学年の担当が連絡調整を行い、学習計画を作成している。その際、学校の授業内容やねらいも丁寧に伝えることで学校と地域の取り組みがつながるようにしている。また、農業合校の畑には行事予定や年間の作業を掲示するホワイトボードが設置され、いつでも地域住民が確認できるようになっている。

■ 事業の成果

- ・子どもたちが地域の方の支援に触れる場面が増え、地域の方やふるさとへの愛着を感じ、豊かな人間性を養うきっかけとなる取組となっている。
- ・推進委員は世代を超えて老上小学校の体験活動を支援してくださっていることから、家庭内で地域のことが話題にのぼるなど、家庭教育的な役割も果たしている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・取組を充実させるため、入念な打ち合わせや準備が必要となる。今後も継続して取組を図っていくためにも、学校・地域双方の負担を軽減していくことが必要である。また、地域の方の高齢化も進んでいるため、新規の推進委員・ボランティアの確保も必要である。情報の発信や円滑な情報の共有のためにも地域コーディネーターの果たす役割がより重要である。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校ホームページ <https://kusatsu.scblo.jp/oikami>

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

やってみよう! 2023 ～地域とともに協同(協働)する学校～

草津市	活動名: 老上西小学校地域協働合校推進委員会	老上西小学校 学校運営協議会: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度: 平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数: 1人 ボランティア登録数: 75人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域協働合校の活動方針や実施した内容について
- ・郷土に関する学びを深める学習について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1) 栽培体験活動

1年生のさつまいも、2年生の大根、5年生の米などの作物を、農業合校やサポーターの方の協力を得ながら栽培した。栽培中は、適宜様子を観察し、成長を見守った。収穫した作物は、家に持ち帰り、収穫の喜びを感じることができた。



【 5年生 稲刈り 】

(2) 学習支援

5・6年生の家庭科の学習で、裁縫の学習支援をしていただいた。担任の目が行き届きにくいところの支援をしていただいたおかげで、安全に配慮しながら、きめ細かい支援を行うことができ、子どもたちは、充実感を得ることができた。



【 4年生 サンヤレ踊り 】

(3) 読書活動の推進

図書ボランティアの方には、本の貸し出しや整理、掲示物の作成など、子どもたちが本に親しめる環境づくりに貢献いただいている。

毎週火曜日には、低学年を中心に、朝の学習の時間を使って読み聞かせをしていただいた。子どもたちは、読み聞かせを大変楽しみにしていて、読み聞かせをきっかけとして読書の幅を広げることができた。

(4) 郷土学習

3年生の校区探検の際に、宮司さんや地域の歴史に詳しい方に、それぞれ現地でお話を聞かせていただいた。

下笠サンヤレ踊り保存会のみなさんに、草津市に伝統的に伝わるサンヤレ踊りについて、実演を交えながら教えていただいた。

■ 実施に当たっての工夫

- ・年度当初に「サポーター活動年間計画」を作成、配布し、保護者や地域の方に一年間の見通しを持てるようにしている。
- ・サポーターのみなさんには、検温や消毒をお願いし、感染症対策を徹底した。

■ 事業の成果

- ・地域コーディネーターを中心として、地域や保護者との連携を密にすることで、子どもたちの体験的で主体的な学習を安全に実施することができた。
- ・郷土について学ぶ取組を、3・4年生で行うことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・感染症対策を実施しながらできそうな活動が定着しつつある。
- ・郷土について学ぶ活動を、充実、発展させていきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・学校ホームページ <https://kusatsu.scblo.jp/oikaminishi>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()
 報告書記入者(地域連携担当教職員)

すきです玉川 わたしも参加 つくるよろこび

草津市	活動名：玉川小学校地域協働合校	玉川小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：45人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（地域、地域団体等）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

地域協働合校による取組について、主に以下の点について相談・検討し、活動の充実・年間計画の修正・変更に向けた。

- ①各学年の活動について、伝統・慣習に固執するのではなく、児童・保護者、地域等の実態に応じて、弾力的に内容を変更・修正したり、新たな取組に置き換えたりする。
- ②児童が主体的に活動内容や方法を創意工夫し、地域の課題解決に貢献する取組を目指すこと。
- ③将来を見据え、継続的な取組になるように活動内容・支援体制を検討し、実践すること。
特に③については、地域人材の高齢化が顕著であることから、保護者の積極的な参加・協力を促す支援体制の構築を図った。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

【保護者によるサポート活動（玉人楽支会：E-Sup.）と地域との連携強化】

本校はこれまで、地域の方々や地域団体等からの手厚い協力を得て、地域協働合校での様々な活動を行ってきた。またPTA活動に対する保護者のマイナスイメージを払しょくするために、PTA組織のあり方や活動内容の見直しにいち早く着手し、その取組の一つとして、令和4年度に保護者による活動サポートチーム（玉人楽支会（通称：E-Sup.））を発足し、教育活動や学校行事のサポート、会員間の交流などに積極的に取り組んできた。

一方、地域人材の高齢化や、後継者不足等から、今後の継続的な活動の実施についての懸念を抱えていることや、地域と保護者との連携が不十分であることが課題として挙げられていた。そこで今年度は、地域・保護者による強力な支援体制を活かしつつ、懸念材料を解決するために、E-Sup. と地域・地域団体との連携を重視し、様々なことに取り組んだ。具体的な方法として、地域協働合校推進員とE-Sup. リーダーとのやりとりを密にし、情報を共有するとともに、可能な範囲で互いの活動に参画できるようにした。次年度はさらに多くの活動において、地域・保護者による共同支援体制を構築していきたい。



【2年学区探索活動サポート】

■ 実施に当たっての工夫

各学年の活動予定、活動内容、募集案内等について、できるだけ速やかにE-Sup. 会員に周知するために公式LINEを作成し、会員間の情報共有をスムーズに行えるようにした。公式LINEの管理・運営は保護者リーダーが務めるとともに、前年度までリーダーと学校担当者間で行っていた連絡調整を、直接、該当学年担当と行えるようにし、連携体制の効率化を図った。

■ 事業の成果

E-Sup. の発足から2年を経て、継続的な活動への取組や啓発活動の成果もあり、保護者間での認識が高まり、活動に対する理解や参画の機運の高まりを感じている。また、これまで地域・保護者がそれぞれで取り組んできた活動を共有・協働できたことで、地域・保護者の関わりが深まったことに加え今後も協力して子どもを支えていこうと目的を一つにすることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

今後、この取り組みを継続するためには、年度間の確実な引継ぎのあり方や、他組織（PTA本部、地域各種団体等）とのさらなる連携が重要である。特にこれまで地域の強力な協力体制に支えられてきた地域協働合校の取組に、どのような形で寄与していくとよいのか、各関係者が密に情報共有・提供を行い、お互いにとってよりよい体制を築き上げることが重要であると考えている。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

今年度より、地域協働合校推進員を学校運営協議会の委員に任命し、地域協働合校の取組に係る情報共有を図り、学校・地域との連携のさらなる充実を図った。また、E-Sup. のリーダー（今年度はPTA会長を兼務）も運営協議会の委員を務めることで、学校・地域と保護者の連携を深めることができた。今年度の実績・成果を踏まえ、次年度の委員の選出を検討したい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（各学級担任）

報告書記入者（教務主任：地域協働合校担当）

素敵な出会い みんなで創るまち 南笠東 ～大人も子どもも 共に地域で学びましょう～

草津市	活動名：南笠東学区地域協働合校推進委員会	南笠東小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：約 100 人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他 [クラブ活動講師]		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・従来に引き続き、「みな小おうえんたい」の活動写真などを学校だよりや学校ホームページに掲載した。
- ・まちづくりセンターにも掲示することで、「みな小おうえんたい」の活動をより多くの方々に知ってもらえるようにする。
- ・「みな小おうえんたい」のボランティア人数のさらなる充実につなげていくこと。
- ・保護者へのPRを積極的に行うこと、また、保護者（PTA）との連携を図っていくこと。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

【みどり学級 野菜屋さん（特別支援学級）】

みどり学級の学習で野菜の苗植えから地域の方に協力いただいた。収穫した野菜（玉ねぎ、じゃがいも、さつまいも）を地域のまちづくりセンターで販売した。児童にとって、野菜販売という学習だけでなく、「ありがとう」「おいしかったよ」と地域の方と交流できたことも、大変有意義であった。

【4年生 お弁当配食】

4年生の総合の学習で地域に在住の高齢者の方々にお弁当の配食を行った。以前より、学区の民生委員さんが行っていた配食サービスに4年生児童が参加し、各家庭を一緒に訪問し、手紙を添えて配食を行った。

【学校周辺の道路のゴミ拾い（日赤さんといっしょに）】

マナー向上委員会の児童と「みな小おうえんたい」「日赤奉仕団」の方々で、学校周辺のゴミ拾い活動を行った。児童と地域の方が一緒に活動することで、郷土愛の育成にもつながった。



【 みどり学級 野菜屋さん 】



【 4年 お弁当配食 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・事業実施については、担当学年からの要望を地域連携担当者に伝えることで、活動内容の充実につなげた。
- ・児童や教師からの「こんな活動をやってみたい」という声にコーディネーターが協力して実施へとつながった。

■ 事業の成果

- ・校内掲示板を活用したことで、校内でも児童や保護者がいつでも活動内容を知ることができた。また、学校HPや学校だよりでも啓発することで、より広く周知できた。
- ・地域の方々が大変協力的で、子どもたちと関わることに喜びを感じてくださっている。今年度は総合の学習などの学習のゴールとして、発表などを地域の方に向けて行うことで、児童も地域の方も達成感を感じることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・引き続き、学習支援を中心に実施を進めるとともに、ボランティア数の確保に努めたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会に、地域コーディネーターやまちづくりセンターの職員も参画していただいている。
- ・HPにて、活動を紹介している。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（担任）

報告書記入者（地域協働合校担当教職員）

協力して育つ 共に育つ 響いて育つ 子どもの夢育て

草津市	活動名：笠縫小学校地域協働合校推進委員会	笠縫小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：8人（兼務8人） ボランティア登録数：50人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・学校運営基本方針…地域の力を活かした学校運営について承認を得た。
- ・ICTを活用した教育の推進…生活習慣、学習取組週間の協力から、家庭力、地域力の高さが伺えるが、SNSの影響が心配。
- ・学校生活の様子や環境整備について…たくさんの行事等を含め、子育ての分野でも地域で協力したり、校内環境整備をPTAと地域で連携して整備したりしていただける旨の声を得た。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

（1）栽培活動

3年生の総合的な学習の時間で、地域の伝統産業である青花紙用のアオバナを栽培する最後のお一人である「アオバナ栽培の名人」を招き、苗の植え方や世話の仕方を教えていただいた。また、育てた花を摘み、伝統的な方法で和紙を染める体験をすることもでき、地域の産業についての理解を深めることができた。また、中庭の「ふれあい花壇」では、環境美化委員会の児童がボランティアの協力を得ながら、季節の花の栽培活動を行うことができた。



【 青花紙づくり 】

（2）地域の人から学ぶ

特別支援学級の子どもたちは、学区の民生委員・児童委員さんと制作活動を通して交流を行った。民生委員児童委員さんの方から交流の企画を出していただいたり、必要なものを準備していただいたり、積極的に関わっていただいた。2年生の生活科では、地域の商店等の協力を得て、それぞれのお店の工夫や思いを聞かせていただき、地域のお店に関心と親しみをもつことができた。6年生の総合的な学習の時間では、学区の「ふるさと絵」から、伝統の「サンヤレ踊り」や「講踊り」などに関心を持ち、フィールドワークで取材を行ったり、ゲストティーチャーを迎えて話を伺ったりしたうえで、自分たちでも調べ活動を行って地域について理解を深めることができた。

■ 実施に当たっての工夫

年度や学期初めに、学習支援等をお願いしたい内容について、学年と地域コーディネーターとで打合せを行い、学習の展開や人材の確保に見通しを持てるようにした。

■ 事業の成果

- ・授業支援については、専門的な視点を生かした話を聞いたり、体験をしたりでき、子どもたちの学びが深まった。
- ・継続してボランティア活動に取り組んでいただいている方が多く、読書や下校パトロール、授業支援などの活動をスムーズに行うことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティアとの授業前の打ち合わせによって、授業はスムーズに進むものが多かった一方で、授業後のふり返りの時間を取ることは難しかった。地域コーディネーターやボランティアが入れ替わっても、人材との連絡や段取り等が引き継げるように、記録の方法を工夫していく必要がある。
- ・年度末に近づくにつれ、講師謝礼が不足がちになった。年間計画を見直す過程で、必要となるボランティアについて整理し、見通しを持った予算計画を立てる必要がある。
- ・継続してボランティアに協力してくださる方がいるものの、学習を進める上で必要な人材を新たに発掘していく必要がある。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

笠縫小学校ホームページ <https://kusatsu.scblo.jp/kasanui>

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）
 報告書記入者（ 地域連携担当教員 ）

ふるさとの「いのち」とふれ合う東っ子

草津市	活動名：笠縫東学区地域協働合校推進協議会	笠縫東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：85人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

本校独自の教育活動である「葉山川学習」（葉山川を基点とする環境学習）や「東っ子句会」を大事にして継続させ、支援していきたいとのこと。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

本校グラウンドの横を流れる葉山川を基点とした環境学習の中の一つに、5年生が行う「葉山川生き物調査」がある。この活動は長年続いており、子どもたちは大変楽しみにしている。しかし、実際に川に入るといふ危険を伴う活動であるため、子どもたちの安全を確保するための対策を十分にとる必要があり、地域の学習ボランティアの力はなくてはならないものである。事前の現地の草刈り、川の深みを示し危険箇所を示す旗立てや活動範囲のロープ張り、観察場所のテント設営、そして、共に川へ入って活動すること等しなければならぬことはたくさんある。



【 生き物を見つけた！ 】

活動当日、子ども達はグループごとに学習ボランティアと川へ入り、喜々として魚などを探しながら歓声をあげていた。魚の名前を覚えてもらい獲り方のコツを習い、そして、川へ入る心地よさを味わい楽しむ姿が見られた。活動後半は、捕まえた生き物をグループごとに観察し他のグループと交流した。鮎、ヨシノボリ、ブラックバス、ブルーギル、カダヤシ、スッポン、川エビ、アメリカザリガニ、アカミミガメ、タニシ、水カマキリなどが見られた。最後に、魚に詳しい学習ボランティアから、琵琶湖や川に生息する外来種が環境に及ぼす影響を学び、川の美化とともにふるさとの川の環境保全への意識を新たにしました。

■ 実施に当たっての工夫

この事業は、成果は大きいものの準備と支援に多大な負担を伴うため、学習ボランティアの高齢化によって存続が難しい状態にあった。そこで、今年度は川の活動場所を学校の近くに移動し、荷物運搬の労力を減らし、現地の桜並木の影を利用することでテントを張る手間を省いた。川がやや浅くなり魚の捕れる量が懸念されたが、子どもや高齢者には安全な活動場所となった。また、保護者に活動支援を呼び掛けたことで数名の保護者とその知人の支援が得られ、活動のねらいの達成ができた上に学習ボランティアの負担軽減につながった。

■ 事業の成果

子ども達の身近にあり親しみ深い葉山川であるが、安全教育上、日頃より子ども達が川の中に入って遊ぶことを禁止している。しかし、この事業では、学習として実際に川の水に入って生き物を捕まえるという普段はできない魅力的な活動が体験できる。さらに、学習ボランティアと共に活動してアドバイスをしてもらったり知らなかったことを教えてもらったりする中で、関係が深まりつながりができる。

また、今年度は1月にある「びわ湖フローティングスクール」に向けて、今回の生き物調査を通じて身近な川の環境保全に目を向け、川とつながる琵琶湖の抱える問題や環境保全へと関心を高めることができた。

なお、今回この事業の見直しを図ったことで、学習ボランティアの高齢化に伴う不安点が軽減され、持続可能な事業となったことは大きな成果である。



【 活動のまとめ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

葉山川を基点とした本校独自の環境学習を今後も地域の学習ボランティアや保護者の協力のもとに継続し、コロナ禍が明けて復活した「東っ子博物館」を発表と啓発の場として益々発展させていきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ 該当学年教員 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

みんなで祝おう 常盤小学校創立150周年

草津市	活動名：常盤小学校地域協働合校推進委員会	常盤小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員等数：3人 ボランティア登録数：300人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・地域コーディネーターの複数人体制について
- ・地域の協力体制のお願い
今までの地域学習を継続させるために地域の方の高齢化が問題である。他に協力していただける方はいないかという相談。
- ・校外において児童が安全に活動できる場所を探すこと（生き物観察のための川）、複数人での活動の見守りができるように支援者の協力依頼。
- ・創立150周年の記念事業について相談。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

地域の方の協力のもと、10月に常盤小学校創立150周年記念事業としてサプライズゲストを小学校に招いて、共に150周年を祝った。また、常盤学区民ふれあいまつりでの「150周年記念式典」や「記念事業しゃぼん玉体験」では、しゃぼん玉名人を招き、児童、保護者だけでなく、地域の方や近隣のこども園の園児にも参加してもらった。秋晴れの青空の下、すべての人の記憶に残る体験をすることができた。150周年を児童だけでなく、卒業生や地域の方が祝うということを通じて、より一層学校への愛着を感じていた。150周年の歴史と伝統ある常盤小学校に誇りを持ち、これからの新たな歴史を地域の方と一緒に作ってほしい思いを高めていた。



【しゃぼん玉体験】

■ 実施に当たっての工夫

サプライズゲストの招へいについては、地域の方の熱い思いを伝え、実現した。サプライズゲストや児童の安全確保のため、当日も多くの地域の支援を受けることができた。「150周年式典」や「記念事業しゃぼん玉体験」についても、児童の発表や活動の様子を温かく見守り、励ましの声をかけていただいたおかげもあり、児童の満足感をさらに高めることができた。

■ 事業の成果

150周年を児童と地域の方が共に祝うことで、学校への愛着をより一層高めることができた。特にサプライズゲストに150周年を祝ってもらったことで、思い出深い150周年となった。

式典や記念事業の事前準備や当日の安全確保等では、地域の方にたいへんお世話になった。児童も地域の方の支えに感謝の気持ちを高めることができた。常盤小学校がたくさんの人をつなぐことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

150周年に関わり、会議や打ち合わせを複数回行った。会議や打ち合わせが長くなることもあったので、負担に感じることもあった。それぞれの事業や式典に関わって、終了後のふりかえり等で、地域の方や地域コーディネーターの方の意見をいただき、今後の参考にしていくことが必要である。

地域の方、地域コーディネーターの方の協力的な姿、学校運営協議会の方々の支えがあったからこそ、創立150周年を盛大に祝うことができ、感謝の一言に尽きる。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

毎回、学校運営協議会で進捗状況を報告し、各委員から相談、助言を得ている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

学校と地域の連携を通じて、生き生きと活動に参画できる社会づくり

草津市	活動名：松原中学校地域協働合校推進会議	松原中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和4年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：210人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・学校の運営方針について
- ・校内研究を含めた生徒の学力向上について
- ・地域協働合校の活動方針や実施した内容について
- ・スクールESDくさつ推進事業に係る地域人材と学校をつなぎ、継続した活動にするための手段・方法について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・農業体験
草津市農林水産課の農商連携調整員や地元農家の方々の指導のもと、開墾や土壌改良、畝づくりや栽培などの農業に関わる体験活動を行った。
- ・部活動支援員による部活動指導
地域の方の専門的な知識や技術力を活用し、生徒の競技力向上にむけた活動を行った。
- ・図書室ボランティア
生徒が本に親しみを持てるよう、ビブリオバトルの開催や書架の整理など工夫を凝らした活動を行った。
- ・環境整備作業
生徒とPTAが協力して学校の環境を整備するための活動を行った。
- ・コミュニティ教室（2月の実施）
キャリア教育の一環として、1年生を対象に地域の方から「働くことの意義」や「やりがい」について講話をしていただく予定である。



【 農業体験 開墾 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・農業体験を行うにあたって、総合的な学習の時間を通して、農作物を育てる意義や目的を考え、草津市の特産野菜である「ベジクサ」について調べ学習等を行った。
- ・地元の農作物により親しみを持つため、地元農家の方に講演をしていただいた。

■ 事業の成果

- ・教職員では満たせない「専門的な知識」、「多くの目で細やかにみること」、「安心安全面のサポート」等により、生徒の学習や体験の充実を図ることができた。
- ・地域関係者やボランティアの方々とのふれあいにより、生徒たちにとって温かいつながりをもつことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域関係機関との連携を通して、地域ボランティアの充実を図る。
- ・地域のニーズと学校のニーズの重なりを検討していく。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会における熟議を通して、地域課題解決型学習に向けたアイデアを出していただいております。地域人材活用に係るパイプ役を担っていただいております。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（事務職員）

報告書記入者（地域連携担当教員）